

# スタンディングデスク DT-1001 組立説明書

この度は、当製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

◇正しく安全にご使用して頂く為に、この説明書をよくお読み頂いた上で組み立て、ご使用下さい。

◇また、いつまでもご覧頂けるように大切に保管して頂きますよう、お願い致します。

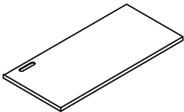
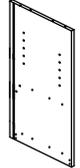
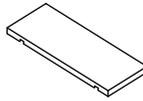
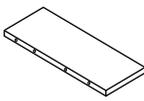
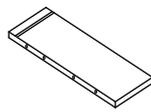
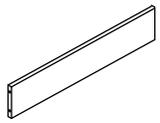
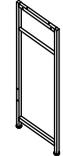
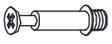
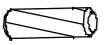
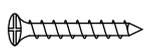
《取り扱い上の注意》

- ◎不安定な場所に設置しないで下さい。
- ◎腰掛けたり踏み台代わりにして乗らないで下さい。
- ◎高温多湿な場所や、直射日光が当たる場所は避けて下さい。
- ◎表面の汚れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いて下さい。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた布でよく拭き取って下さい。シンナーやベンジン等は表面を傷めますので使わないで下さい。

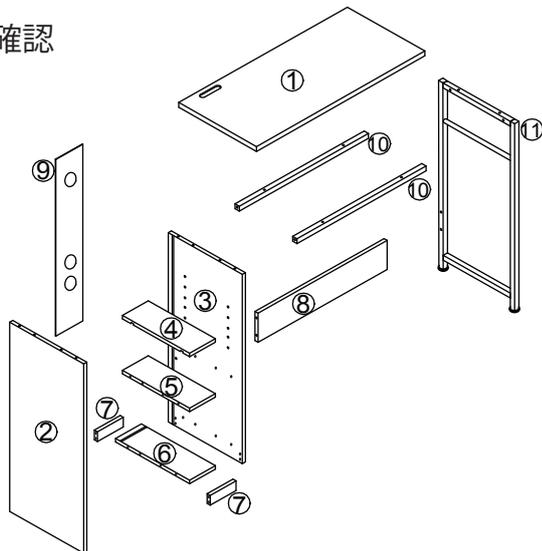


商品をフローリングや畳等、柔らかい床の上でご使用されますと、傷や凹みができる場合がございます。床材に傷や凹みができないように、カーペット等の敷物を敷いた上でご使用下さい。

**部品明細** ※プラスドライバーをご用意下さい。

①天板  1	②左側板  1	③右側板  1	④可動棚板  1	⑤棚板  1	⑥底板  1	⑦幕板  2
⑧補強板  1	⑨背板  1	⑩スチールバー  2	⑪脚フレーム  1	Ⓐカムボルト  12	Ⓑカムロック  12	Ⓒ木ダボ  20
Ⓓボルト (長)  4	Ⓔボルト (短)  4	Ⓕボンド  1	Ⓖダルマナット  4	Ⓖ木ネジ  6	①金ダボ  4	①六角レンチ  1
Ⓚ コンセント (木ネジ二個付き)  1セット						

**部品確認**



**完成図**

商品外寸：

幅：約 980mm  
奥行：約 450mm  
高：約 1000mm

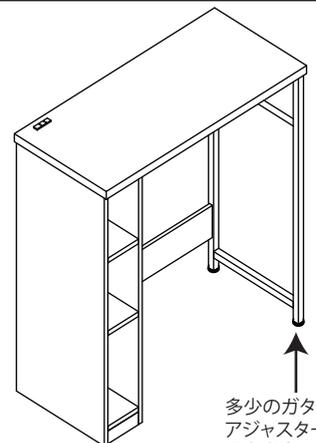
主材：

天板：メラミン化粧板  
本体：プリント紙化粧板  
フレーム：スチール (エポキシ樹脂粉体塗装)

原産国：中国

株式会社 宮武製作所

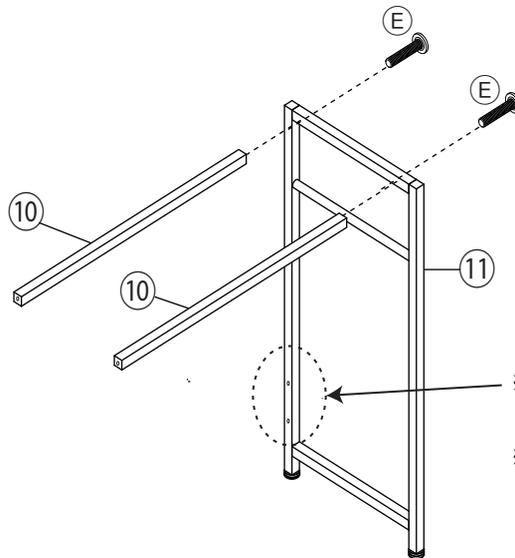
〒546-0040 大阪市東住吉区桑津 1-23-13



多少のガタつきは  
アジャスターで調整  
できます。

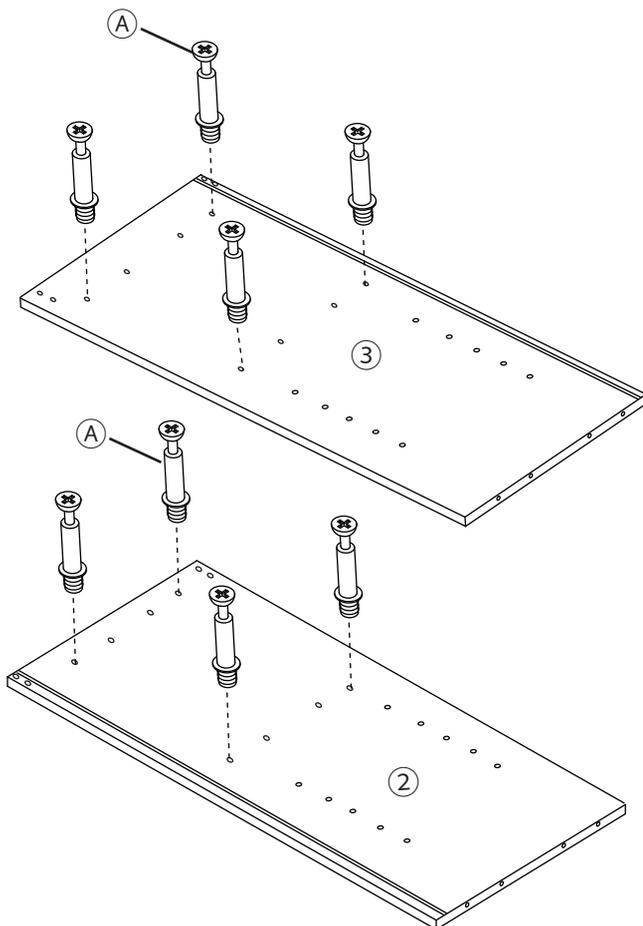
- 組立て前に部品が揃っているかご確認ください。
- 組立ては、手袋又は軍手をはめて行って下さい。
- 各部のボルトはゆるく仮締めして組立てし、完成後にしっかりと締め付けると組立てやすくなります。
- 商品や床、周辺の家具等に傷が入らない場所で、柔らかいカーペット等の上で組立てを行って下さい。

**1** ⑪のフレーム脚に⑩スチールバー2本を下記図のように⑤ ボルト (短) を使用して取付けて下さい。

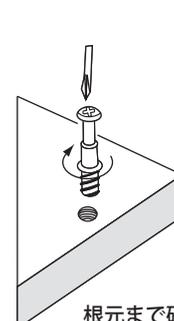


※左図を参照し⑪脚フレームの向きに注意して⑩スチールバーを取付けて下さい。  
 ※ボルト穴がある方の脚が後ろになります。左側に⑩スチールバーが来るように取付けて下さい。

**2** ③右側板、②左側板に④カムボルトを下記図の位置に取付けて下さい。



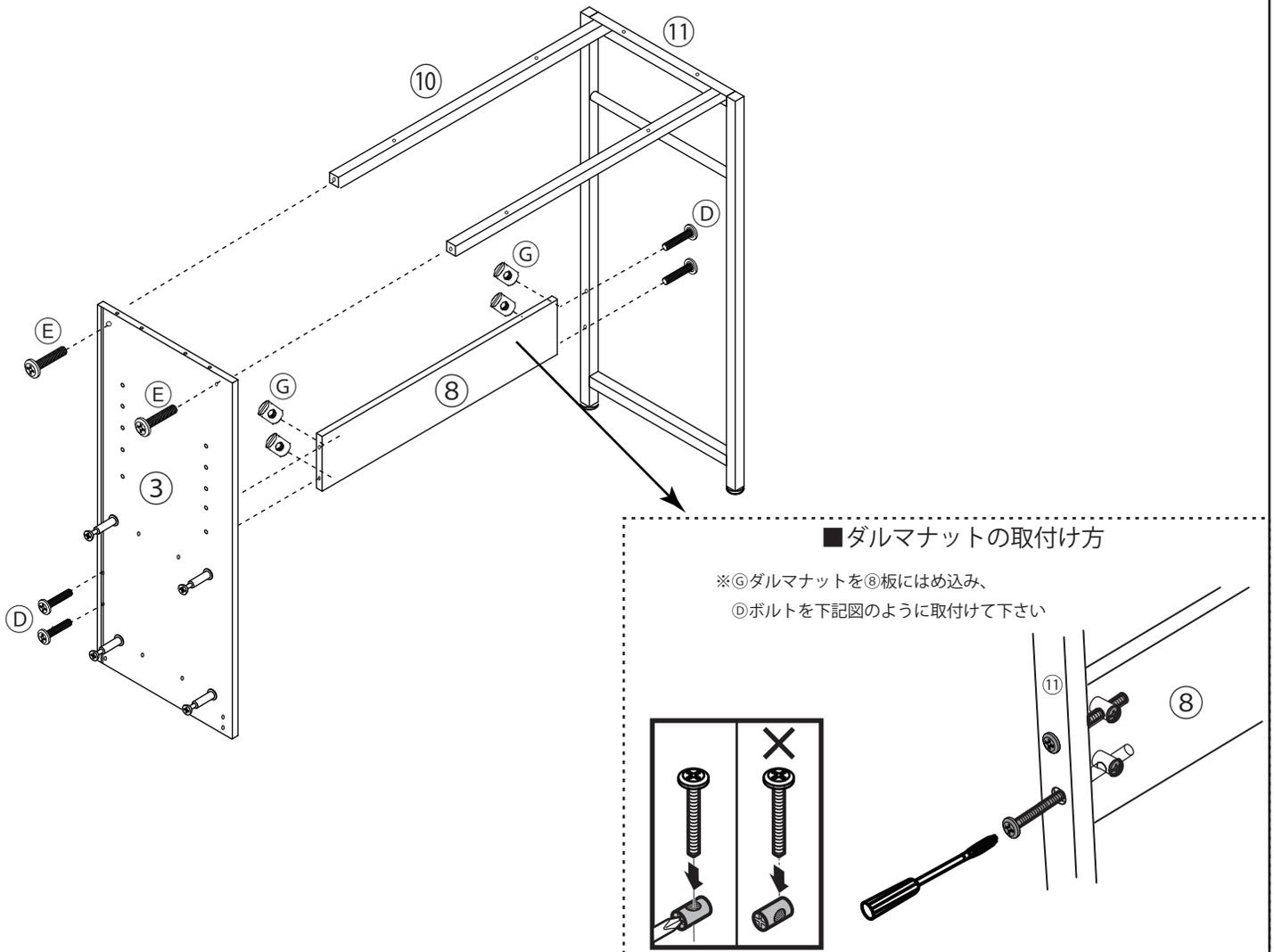
カムボルトの取り付け方



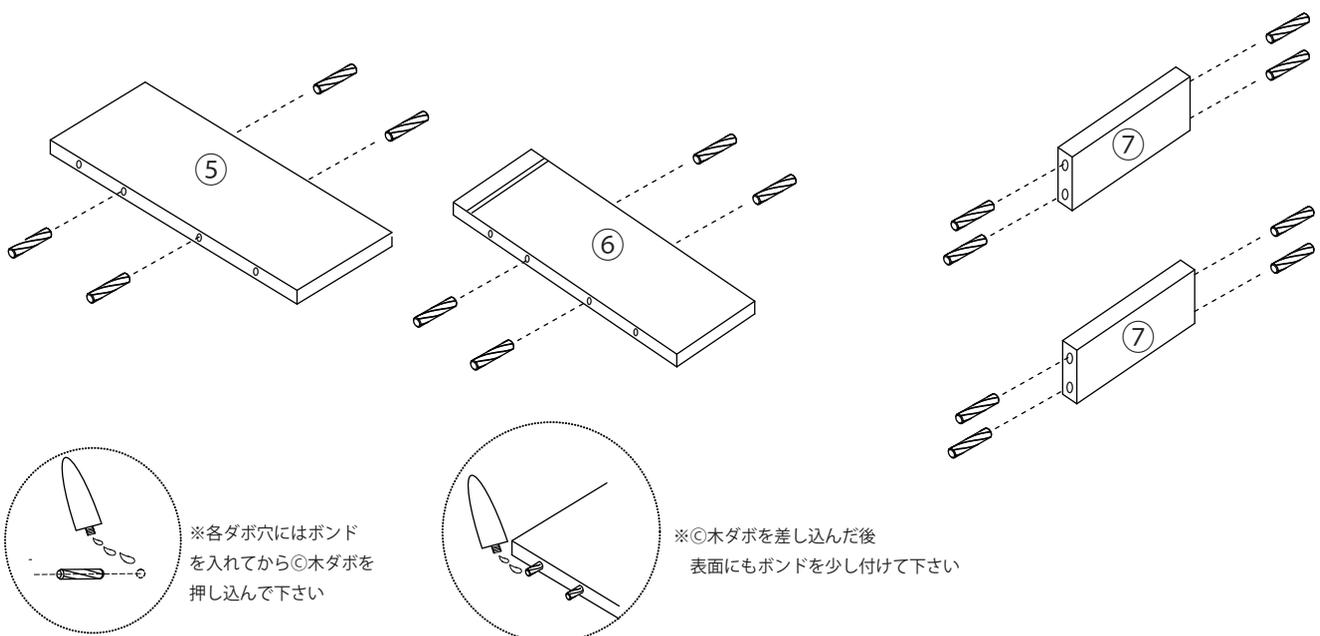
板に取り付ける際必ず垂直、水平にねじ込んで下さい。

根元まで確実にねじ込んで下さい。  
 締め込みが緩くなっていると、  
 組み上げた際に隙間の発生の原因になります。

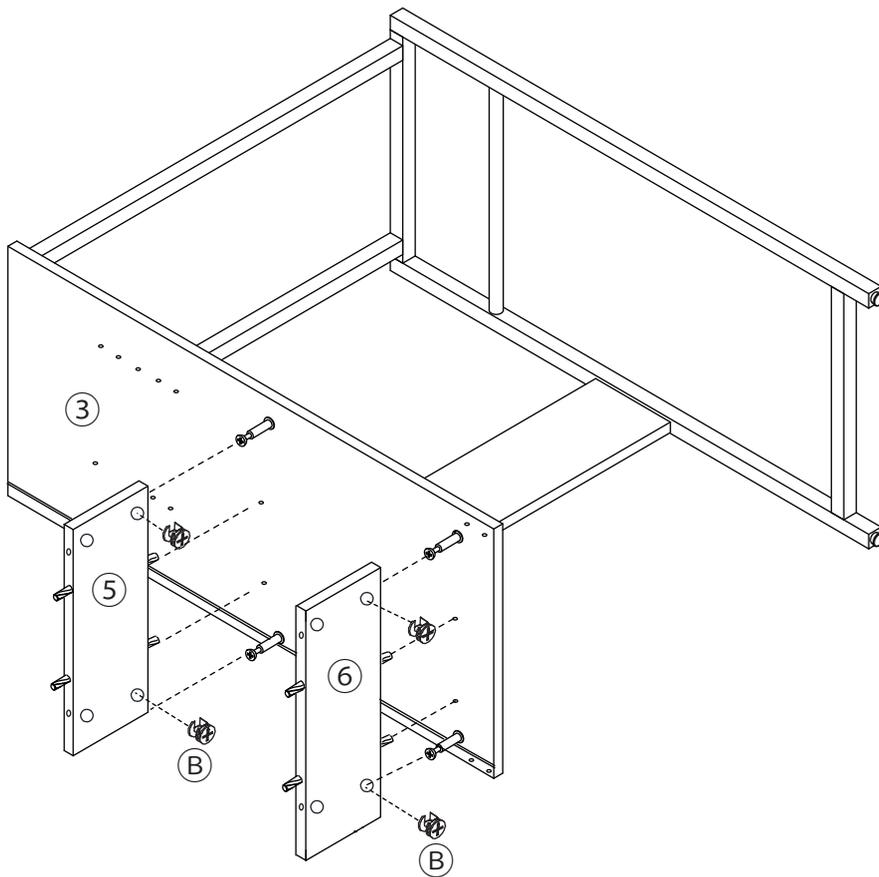
- 3** ①脚フレームに⑧補強板を下記図のように⑩ボルト(中)、⑥ダルマナットを使用して取付けて下さい。  
 ③右側板を⑤ボルト(短)、⑩ボルト(長)、⑥ダルマナットを使用して⑩スチールバーおよび  
 ⑧補強板に取付けて下さい。



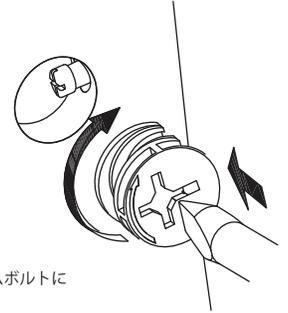
- 4** ⑤棚板、⑥底板、⑦幕板 × 2 のダボ穴に⑨ボンドを使用して④木ダボを取り付けて下さい。



**5** 本体を静かに寝かし、③右側板に⑤棚板、⑥底板を下記図のように⑧カムロックを使用して取付けて下さい。

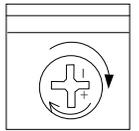
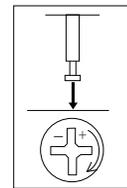


カムロックの取付け方は  
下記図を参照して下さい



カムロックをカムボルトに  
差し込み  
180度右に回す。

⑧カムロックを差し込む時は、一、+の印の間に  
⑨カムボルトが入るように、プラスドライバー  
を使って向けて下さい。

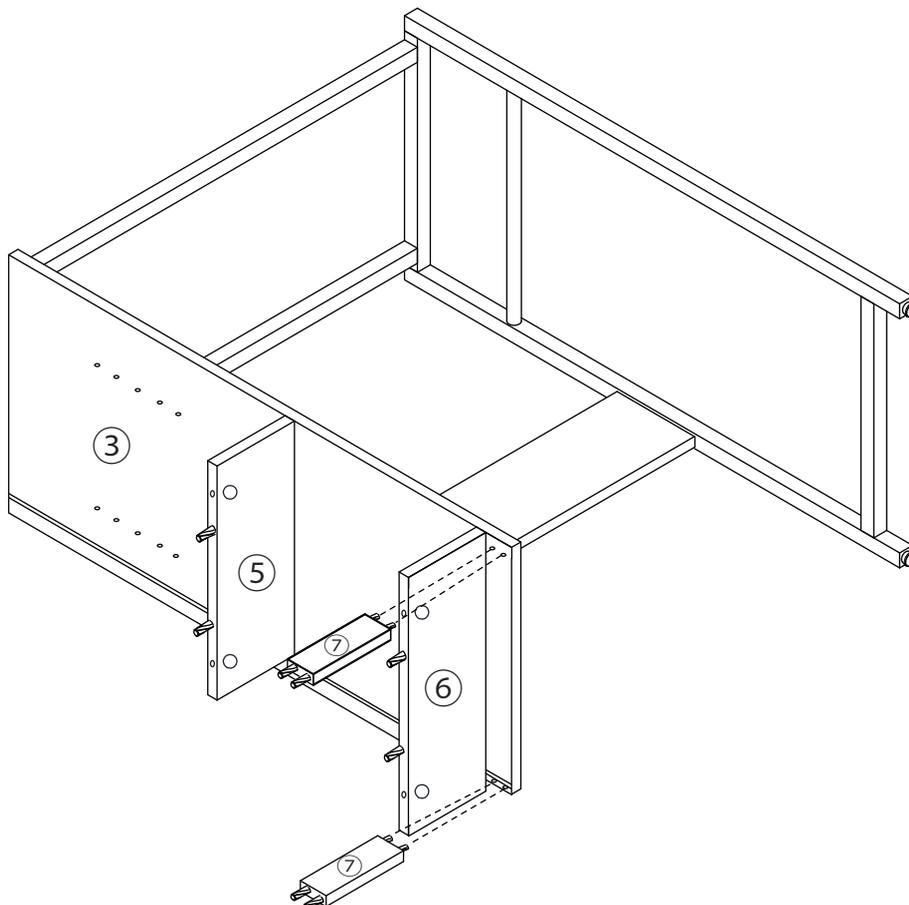


一、+の印が右にくるよう  
に回してカムロックが止まる最後  
まできつく回して下さい。

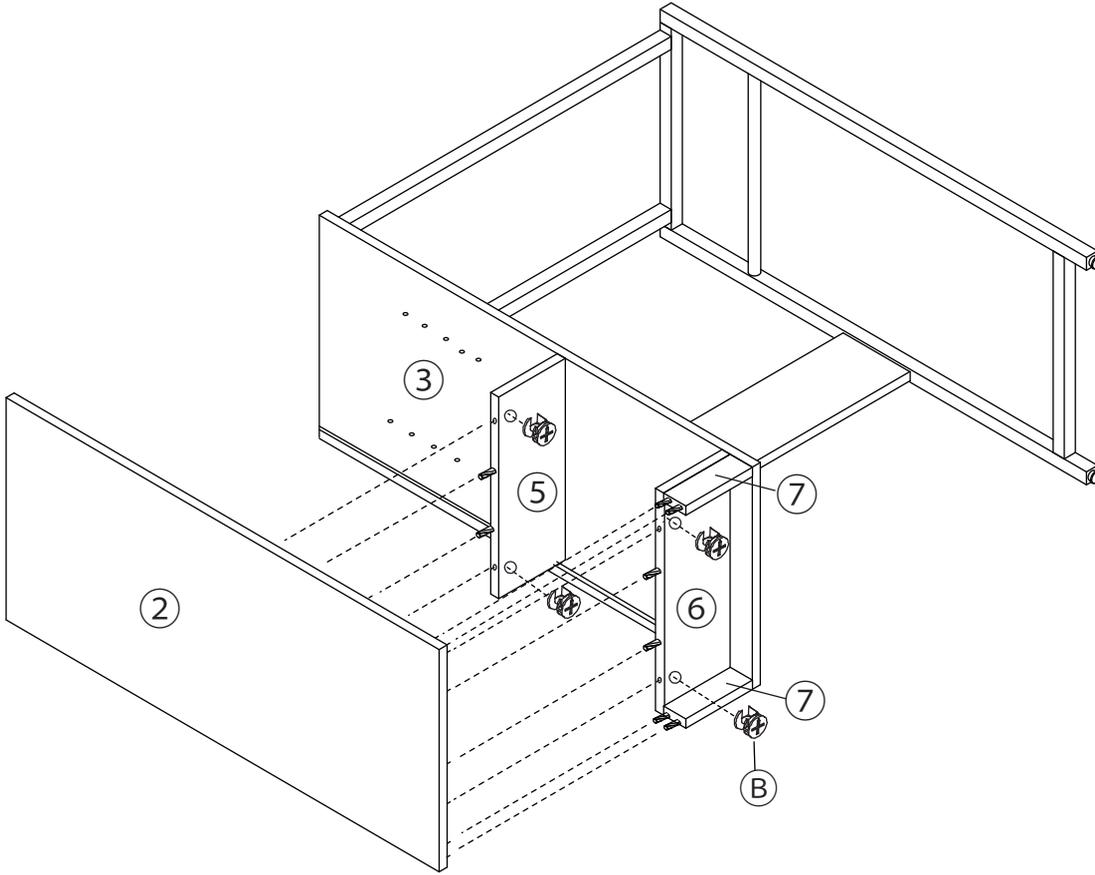
★お願い★

最後までカムロックを回すことで、使用中に  
緩みにくくなりますが、組み立て式ですので、  
定期的な各部ボルトの点検をお願い致します。

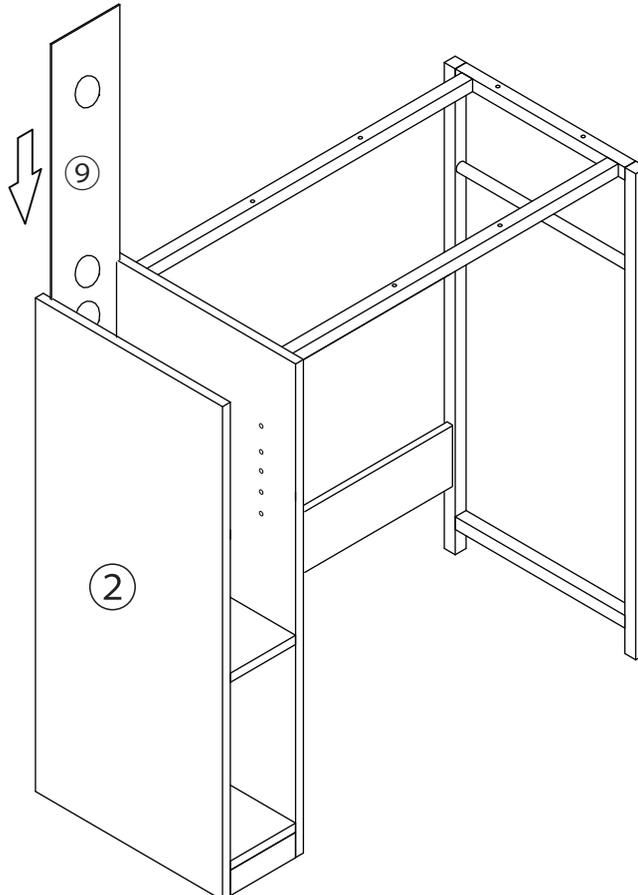
**6** ③右側板に⑦幕板を二箇所、下記図の位置に取付けて下さい



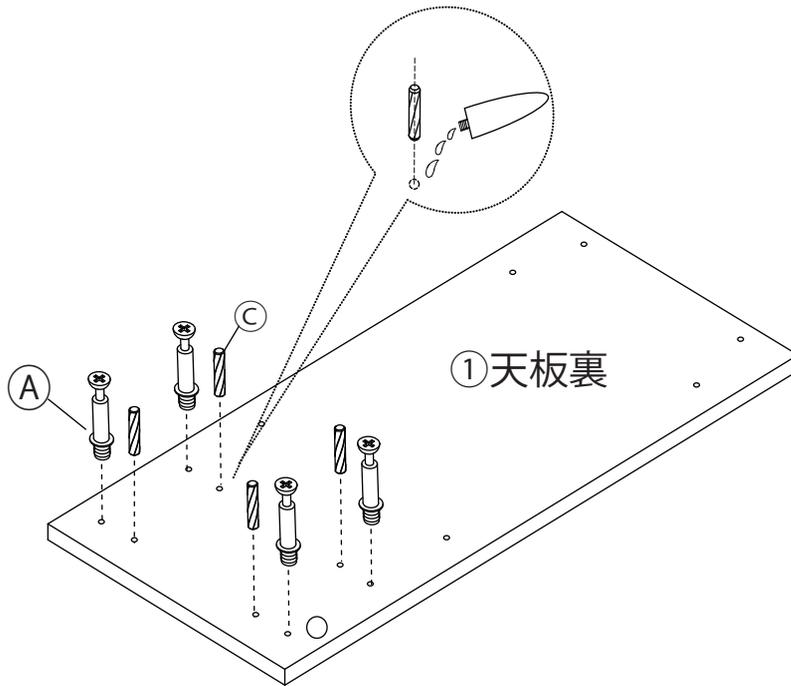
- 7** ②の左側板を⑤棚板、⑥底板、⑦幕板に取付け、**B**カムロックを使用して取付けて下さい。



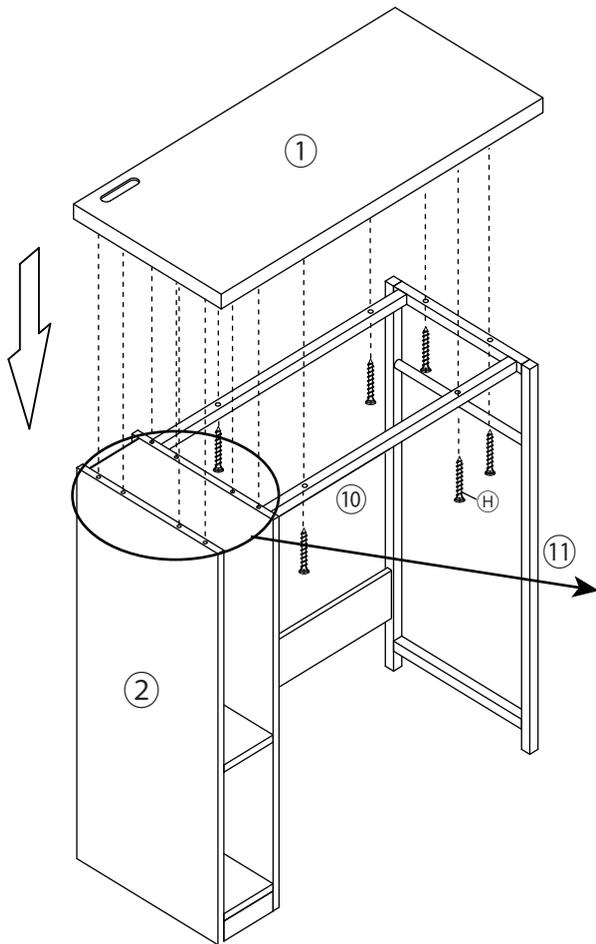
- 8** 本体を静かに起こし⑨背板を本体の溝に差し込んで下さい。



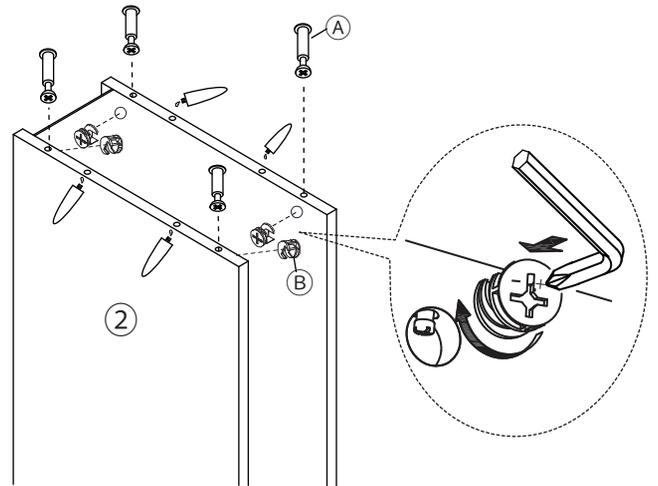
**9** ①天板に④カムボルトおよび⑤木ダボを下記図の位置に取付けて下さい。



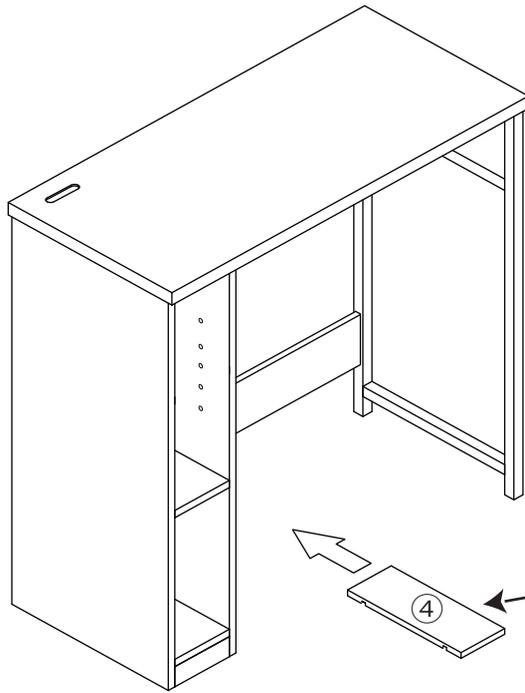
**10** ①天板を本体に取付け、②左側板および③右側板に⑥カムロックを取付けた後、下記図の位置に⑦木ネジを取付けて下さい。



※⑧六角レンチを使用して②左側板、③右側板に⑥カムロックを4箇所取付けて下さい。

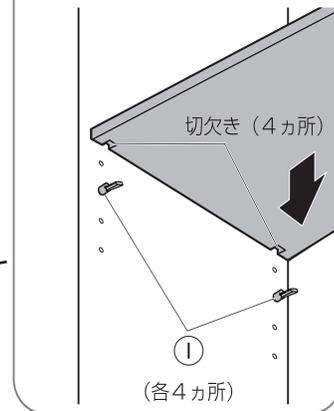


**11** ④棚板をお好みの位置に①金ダボを使用し取付けて下さい。



### 取り付け方

棚ダボはお好みの高さ  
そろえて取り付ける



※①金ダボが固く入りづらい場合は、回しながら入れて下さい。  
取り外す場合も同様に回しながら取り外して下さい。

**12** ①コンセントを①天板に取り付けてください。

### 取り付け方

